

ロシア人日本語学習者における日本語疑問表現の使用上の困難点 —初級学習者に対するアンケート調査から—

グリブ ディーナ

1. はじめに

1.1. 研究の背景

疑問文とは「相手に対して、ことばによる直接的反応(=答え)を要求することを、その本来の性格とする」(宮地、1991)文であり、平叙文に次いで使用率が高く、外国語を学習するにあたって必要不可欠な文型である。疑問表現は、世界のどの言語にもみられるが、疑問語および疑問文の形式・用法は言語によって大きく異なるため、外国語の学習において困難が生ずる学習項目のひとつである。

初級レベルにあるロシア人日本語学習者(以下、学習者)が、尋ねたいことを表現できず、困惑する場面をしばしば目にする。例えば、話し相手の好きな本の書名を知りたい学習者が「どんな本が一番好きですか。」と質問し、書名ではなくジャンルを回答されて、驚いたという事例がある。また、中級以上の学習者でも、距離や期間について質問したいときに、疑問語の選択に戸惑うと話す人がいる。

学習者が疑問語および疑問表現の使用に関する問題に直面することは、初級に限定的であると考えられる。しかし初級の学習者であっても、日本語でコミュニケーションをするときには、正確な疑問表現の使用が要求される。従って、疑問語をはじめとする疑問表現の使用上の問題点を究明し、それに基づいた指導法を検討することは重要であると考えられる。

1.2. 先行研究

日本語の疑問表現をテーマとした研究は数多く存在するが、本論文では現代日本語の疑問表現に定義や特徴に関して宮地(1991)、通時的な観点からの成立や分類に関して阪倉(1960)、山口(1990)を参考にした。ロシア語の疑問表現・疑問語の定義・概要・分類に関しては、高く評価される著書としてワルギナー他(2002)を参照した。

ロシア語圏の日本語学習者の誤用を分析した研究にはコベルニック(2012)がある。コベルニック(2012)では、ロシア語とウクライナ語を母語とする学習者を対象とし、ウクライナの首都キエフ市の大学で日本語を学ぶ59人による合計169の作文の分析が行われた。「語彙の誤用」とともに「取立て助詞・格助詞の混合」、「連体修飾の誤用」、「指示詞の誤用」の例文について分析した結果、誤用の多くは母語の影響によるものとされた。

日本語とロシア語の疑問表現の対照研究には、疑問語の生起位置に注目したエプセーワ(2007)、ロシア語の疑問文のイントネーションに着目した五十嵐(2004)がある。また、中林(2010)はロシア人日本語学習者が「日本語音声聞いた際に、感情の種類やアクセント型などによっては正しく感情を知覚することが困難である可能性」を示

し、それについて考察した。

一方、ロシア人日本語学習者による疑問表現の産出をテーマとした実験型の研究は、管見の限りではこれまでにない。

1.3. 研究目的

本研究の目的は、まず、先行研究を踏まえて日本語とロシア語の疑問表現の特質を整理し、次に初級ロシア人日本語学習者による疑問語をはじめとする疑問表現の使用上の困難点を明確にしたうえで、その使用能力を向上させるための提案について考察することである。

2. 日本語とロシア語の疑問表現

2.1. 日本語の疑問表現の定義及び特徴

疑問表現とは『国語学大事典』の定義によれば「広義には、疑いと問いとの表現の総称。狭義には相手に反応を求める要求表現、すなわち質問の表現。」(宮地、1991)である。ここでは、疑問表現という語を広義で使うこととする。

疑問表現の分析に際しては、多様な分類法が用いられてきた。用法として疑問表現は「問い」、「疑い」、「反語」の三種に分けられている。

阪倉(1960)では、疑問表現は要求される答えの内容の側面からみて、以下のように3分類され、それぞれの典型形式が明示されている。

- ①<要説明>の疑問(疑問詞によつてしめされる疑問点についての説明をまつ)
- ②<要選択>の疑問(二つ以上の選択肢をしめして、そのいづれかをとるべきかの決定をまつ)
- ③<要判定>の疑問(一つの判定をしめして、それが成立するか否かの判定をまつ)

(中略)

<要説明>= 疑問詞 — (ノ)ダ。(ただし敬辞デス・マスの場合には、さらにカを添へる)(疑問詞 — (ノ)?)

<要選択>= —カーカ。

<要判定>= — (ノ)カ。(— (ノ)?)

『新版日本語教育事典』では「要説明」は「補充疑問文」と、「要判定」は「真偽疑問文」と、「要選択」は「選択疑問文」と称される。

本研究では、真偽疑問文と選択疑問文も視野に入れるが、疑問語の使用が要点の一つであるため補充疑問文を中心に検討する。

なお、日本語の疑問文、特に補充疑問文を平叙文と区別する特徴としては、疑問を表すイントネーション、疑問語の使用、疑問を表す終助詞の使用の三点が挙げられている。

2.2. ロシア語の疑問表現の特徴

ロシア語では、疑問文は「発話者が知りたい情報を相手に表現させることを目的とする文」と定義される（ワルギナー他、2002）。

ロシア語には、日本語と同様に疑問文の種類として「補充疑問文」・「真偽疑問文」・「選択疑問文」がある。また、ロシア語には疑問表現を用いる同意要求、反語もある。さらに、日本語と同様に、疑問文に迷い・疑い・不信・驚きなどのニュアンスを付加することができる。

なお、平叙文と比較して、文法的な特徴を整理すると、以下のような4点がワルギナー(2002)をはじめとする文法書において一般的に挙げられている。

- ・ 疑問を表すイントネーション（疑問に思う語が上昇調であるが、文末は必ずしも上昇調にならない）。
- ・ 表記として疑問符「？」の使用。
- ・ 疑問語（疑問代名詞、疑問副詞、疑問小詞）の使用。
- ・ 場合によっては語順の変更（疑問に思う語が文頭に置かれる傾向がある）。

上記のように、日本語とロシア語とでは疑問文の定義および分類において類似するところが多い。しかし、ロシア語と日本語のイントネーションの相違は先行研究において取り上げられている。しかし、疑問符の使用・不使用、語順変更の是非、疑問語の意味用法にも相違があるため、日本語習得への影響が推測できると考えられる。

2.3. 日本語とロシア語の疑問語の比較

疑問詞には、工藤(1980)では「疑問の事物・事態を表す語の総称」という定義がみられる。本稿においてもその定義に従う。しかし、本稿では、品詞分類上の混乱を避けるため、「疑問語」という用語を使用する。

工藤(1980)には、「どれ、どこ、だれ、なに、いつ、いくつ、いくら、いく日、何人、どう、どうして、なぜ、どの、どんな」という疑問語の例が挙げられている。他にも「いずこ、いかなる」などが使用されており、種類が豊富である。

日本語の疑問語には、助詞カ・ヤラを伴って不定を表す用法、助詞モ・デモを伴って全称を表す用法、特定の語に限って勧誘・発見・感嘆を表す用法など、多くの用法がある。ロシア語の場合も同様である。しかし、本研究では、両言語に共通する疑問語の基本的な用法、すなわち疑問文における疑問点を表す用法にのみ焦点をあてるため、ここでは両言語の疑問語が不定・全称・感嘆を表す用法の相違点には触れないとする。

ロシア語にも日本語と同様に疑問語は品詞として分類されておらず、代名詞と副詞の下位分類に入っているため、「疑問代名詞と疑問副詞」と称される。本稿では、用語統一のため、両方の総称として「ロシア語の疑問語」とする。現代ロシア語の疑問語に英語訳を付して、下記の表 1. にて示す。

表 1. ロシア語の疑問語

кто、	что、	чей、	какой、	который
(who)	(what)	(whose)	(what kind of)	(which)
как、	когда、	где、	куда、	откуда
(how)	(when)	(where)	(whereto)	(where from)
почему、	зачем、	сколько		
(why)	(what for)	(how many/how much)		

続いて、ロシア人向けの日本語教材と参考書の語彙表、日本人向けのロシア語教材の記述に基づき、日本語とロシア語の疑問語の対応を下記の表 2. にて整理する。本稿は、ロシア語話者に対する日本語の指導について検討する。そこで、ロシア語の疑問語に日本語を当てはめようとする学習者にどのような選択肢が与えられるかについて確認するのが表 2. の目的である。それ故にロシア語の疑問語を起点とする。

表 2. ロシア語と日本語の疑問語の基本的な対応関係

問う対象	ロシア語	日本語
人	кто(who)	誰・どなた
事物	что(what)	何
時	когда(when)	いつ
場所	где(where)	どこ・どちら
数量	сколько(how many)	いくつ・いくら
性状	какой(what kind of)	どんな
様子	как(how)	どう
理由	почему(why)	なぜ・どうして
選択	который(which)	どれ・どの・どちら

疑問の意味範囲が言語によって異なるというのは、当然のことであるが、初級レベルの外国語学習者は、外国語の単語や文法項目に母語の概念を当てはめようとする傾向がある。さらに、迫田(2002)では、母語と似通っているとして意識される場合に母語転移が発生しやすいと指摘されている。従って、教科書や辞典類で上記のような対応性を示された初級学習者は、日本語の疑問語にロシア語の疑問語の意味・用法をそのまま当てはめる危険性が推測できる。

そこで、ロシア語の疑問語の意味範囲が日本語の疑問語の使用に影響を与えるか否かについて確認し、学習者による日本語の疑問語の使用状況を把握するため、初級日本語学習者に対する調査が必要であると考えられる。

3. ロシア人日本語学習者による日本語の疑問表現及び疑問語の使用状況

3.1. 調査の目的および概要

前述のように、日本語とロシア語の疑問表現には多くの共通点があり、疑問語にもある程度の対応性が確認できる。ただし、その対応は完全に同一なものではなく、意味と用法にズレがある。両言語の疑問語の意味と用法の違いにより誤用が発生しやすいと考えられるため、学習者による疑問表現・疑問語の使用状況を把握することが必要である。データベースに十分な数の使用例が確認できなかった¹ため、下記のとおり調査を実施することとした。

調査目的は、初級ロシア人日本語学習者による、疑問語および疑問表現の使用例を収集し、使用傾向に関する分析を行うことである。

調査の実施期間は、2013年3月である。調査対象は、ロシア極東地域ウラジオストク市に位置する極東連邦総合大学、独立非営利法人「ウラジオストク日本センター」の在籍生80名である。ただし、日本語レベルを統一するため、日本語能力試験2級・N2合格者、日本滞在歴が一年以上の学習者計4名を除き、76名の結果を分析の対象とする。その内、32人の学習者に一カ月以上一年未満の日本滞在歴があり、34人には日本滞在歴がなく、10人は一カ月未満である。被調査者の大多数は、日本語能力試験が未受験であったが、各クラスに日本語能力試験N4・N3・3級合格者がいることを考慮し、また現地教師の意見を参考にして、被調査者を中級以下の日本語学習者として位置づけた。また、自然な日本語表現の参考データとして、5名の日本語母語話者より学習者と同じアンケートへの回答が得られた。

調査では、学習者に16種類の場面²を提示し、それぞれに相応しい言い方を作文するよう指示した。この調査方法では、自然談話は得られないが、ある程度量がある疑問文のデータの収集方法である。なお、被験者に疑問語の選択に意識を集中させないため、疑問語の調査であることを事前には伝えず、異なる待遇レベルを想定した場面が設定され、自然な日本語では疑問語が用いられない場面も取り入れた。場面は、疑問文を想定し、作成されたが、肯定文による回答も認められた。場面設定の説明文は日本語とロシア語両言語で示した。

3.2. 調査の結果および分析

今回は、調査対象者が100人未満であったため、結果を比率ではなく、実数で示す。被調査者の作文は、文法・表記・句読点などをそのまま引用した。なお、漢字、長母音、文法に関する誤用は、本研究の目的と関わらないので、本稿では取り上げないこととする。

¹ 国立国語研究所「日本語学習者会話データベース」では、OPIの形式のため学習者が質問に答える立場であり、疑問表現の使用例が少ない。東京外国語大学「日本語学習者言語コーパス」では、ロシア語話者による日本語の間接疑問表現の誤用はみられるが、作文のため直接疑問文が現れない。「KYコーパス」・「寺村誤用例集データベース」などではロシア語話者のデータがない。

² 具体的な設問内容は巻末の資料①を参照。

3.2.1. 疑問語の文レベルの誤用および使用傾向

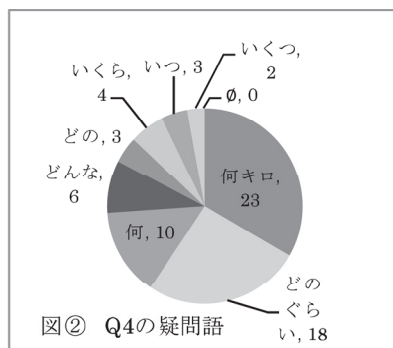
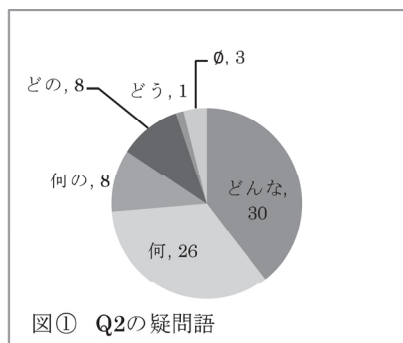
上記の表 2. で教科書や初級の参考書が記述する疑問語の対応関係を紹介した。しかし、実際には日本語とロシア語の疑問語の意味・用法にはズレがある。

日本語では「何」を用いる文であっても、ロシア語では「**что** (何)」ではなく「**какой** (どんな)」または「**сколько** (いくつ)」が使用される場合が多い。被調査者においても、不適切な疑問語の使用がみられた。以下では、被調査者の疑問語選択が不自然であった設問を紹介する。

「Q2 もし、あなたが友達にフランスの国旗の色について確認するとしたら、どのように質問しますか。」では、母語話者の回答にも「何色」・「疑問語なし」・「どんな国旗」と多様性が見られる。学習者は「何色」や「どんな色」のほか、17名が例(1)～(3)のように「色はどう」や「何の色」などという不自然な疑問語を使用した。

- (1) 「フランスの旗の色はどう」
- (2) 「フランスの国旗は何の色ですか。」
- (3) 「フランスの国旗の色はどの色ですか？」

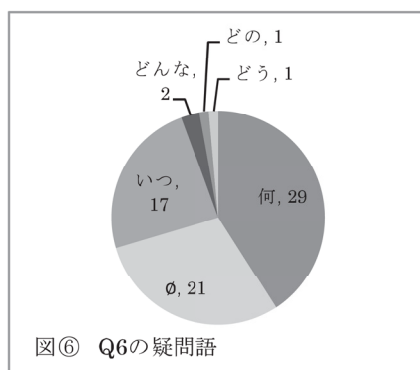
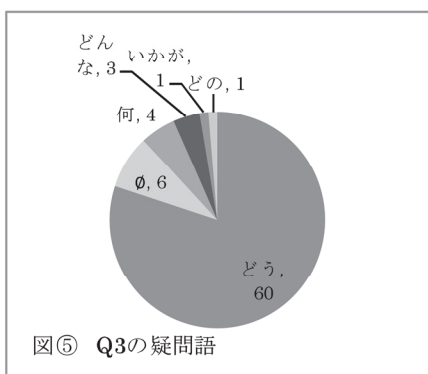
図①では、疑問語の使用状況を示した。なお、この設問に対する回答では、「何の色」は不自然であると考えられるため、「何色」と別の疑問語形として扱う。



「Q4 もし、あなたが東京と大阪の間の距離について先生に聞くとしたら、どのように聞きますか。」は、学習者にとって疑問語の選択が難しい設問であった。母語話者は「どれぐらい」を多く使い、また「何km」を使用することが確認できた。一方、学習者は、「何キロ」と「どれぐらい」の他に、一部の学習者が例(4)～(7)のように「いくら」・「いくつ」・「いつ」など不適切な疑問語を使用した。無回答であった3名を除いた結果を図②で示した。

- (4) 「先生、東京と大阪の間はどんな距離ですか。」
- (5) 「東京と大阪の きよりは いくらですか。」
- (6) 「先生 すみませんが 東京から大阪まで何の距離ですか。」
- (7) 「とうきょう から おおさかまでは キロメートルは いくつですか。」

続いて、「Q7 もし、あなたが買いたい牛肉に重量表記が見当たらず、店員に聞く



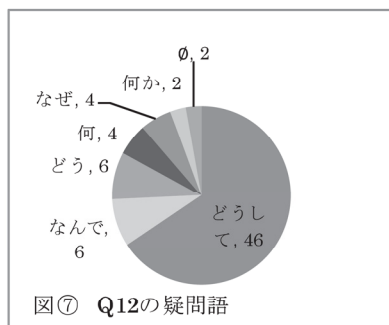
時間を尋ねる疑問語として「何時」や「いつ」は教科書に早い段階で導入され、習得しやすいと指摘できる。また、相手の感想について尋ねる場合(Q3)、道案内を頼む場合(Q 14)など、日本語とロシア語の疑問語の使用は表 2. の対応関係に反しない。それらの設問への回答では、学習者が適切な疑問語を使用している。

3.2.2. 疑問語の談話レベルの誤用および使用傾向

「Q12 もし、あなたが、待ち合わせに遅れてきた友達に遅刻の理由について聞くとしたら、どのように聞きますか。」では、文レベルでは間違っていないが、談話レベルでは不適切であると考えられる言い方がみられた。無回答であった6名を除いた結果を図⑤で示した。母語話者は「どうした？何かあった？」と直接に理由を尋ねなかったのに対して、図⑦および例(17)～(18)から窺えるように、被調査者76人のうち56名が理由を尋ねる疑問語を使用した。それは、話し相手に不快感を与え得る、不適切な表現であると言える。

(17)「あなたの遅刻の理由は何ですか。どうして遅れたか。」

(18)「なぜ遅れましたか。」



疑問語を想定しない設問8への回答に類似する結果がみえた。「Q8 もし、あなたの友達が「『ころ』の作者は三島由紀夫だ」と言っていて、あなたがそれは夏目漱

石だと知っているとしたら、どのような質問をして、友達のカミを指摘しますか。」では、無回答者を除けば半数以上を占める 34 名の学習者が「間違い」または「違う」と言い、相手が間違っていることを口に出して指摘している。

(19) 「ほんとですか。あなたはちがうと思います。」

(20) 「ちょっと、違います。別の著者です。なつめ・そせきですよ。」

(21) 「わるいけど、まちがえたんじゃないでしょうか」

例 (19) ~ (21) も、上記の例 (17) ~ (18) と同様に、相手に不快感を与え得、文を超えたレベルにおいて不適切な言い方であると考えられる。

一方、一部の被調査者は例 (22) ~ (23) のように相手の遅刻、あるいは例 (24) のように相手の過ちを直接に指摘せず、母語話者の回答に近い答え方をした。

(22) 「何かあったの？」

(23) 「どうしましたか。」

(24) 「「こころ」の作者は夏目漱石だと思うんですけど…」

このような回答は、学習者が日本語の文法と語彙のみならず、コミュニケーションスタイルをも習得しようとしている努力の現れであると考えられる。

3.2.3. 疑問語の不使用

アンケート調査の設問は疑問文を設定して作成したが、肯定文での回答も可能であり、被調査者にもその旨を伝えた。そこで、上記でみた Q6、下記で例を掲げる「Q9 もし、あなたが友達との待ち合わせ時間を 14 時から 13 時に変更したいとしたら、どのように質問しますか。」をはじめとする一部の設問に対して例 (25) ~ (27) のように肯定文による回答、また例 (28) ~ (29) のように疑問語を使用しない疑問文による回答が得られた。

(25) 「待ち合わせ時間を 14 時から 13 時に変更したいんですが」

(26) 「先生、東京と大阪の間の距離がわからないんですが」

(27) 「あのお、牛肉の重量を教えてくださいたいのですが。」

(28) 「大阪は東京から遠いんですか」

(29) 「すみません、牛肉の重量を教えてくださいませんか」

特に、疑問語の選択が困難であると考えられる「Q4 もし、あなたが東京と大阪の間の距離について先生に聞くとしたら、どのように聞きますか。」や、「Q7 もし、あなたが買いたい牛肉に重量表記が見当たらず、店員に聞くとしたら、どのように質問しますか。」への回答で疑問表現を避ける傾向がみられた。学習者により自然な言い方になるよう工夫が施されたと判断できるであろう。

4. 考察および日本語教育への提言

4.1. 疑問語に関する考察および日本語教育への応用

調査の結果により、日本語の疑問語の使用においては、語・文・談話レベルの誤用がみられた。

語レベルの誤用には表記の誤り³があったが、全体的に少数であった。語レベルの誤用は、長音の無表記を除けば共通する間違いが現れなかったため、学習者個人の誤解によるものであると考えられる。

一方、文レベルの誤用には、複数名の学習者に共通する間違いがみられた。ここで早い段階で学習される「何」を中心に一考察を加えていく。日本語の「何(なに)」の辞書的な訳は、「что(what)」であるとされる(『コンサイス和露辞典』)。学習者が最初に習う疑問文「これは何ですか」をはじめとして、多くの場合に日本語の「何」にロシア語の「что(what)」が対応している。しかし、日本語では同じ「何」でも、「何枚」・「何キロメートル」等ではロシア語の「сколько…(how many)」が対応し、「何色」・「何という」等ではロシア語の「какой…(what kind of, どんな)」、「何時」等ではロシア語の「который…(which)」が対応する。このように日本語では疑問語「何」が自然である文脈でも、ロシア語では「что(what)」ではなく、「какой(what kind of)」または「сколько(how many)」または「который(which)」が使われる文脈であれば、多くの被調査者が「何」の代わりに「どんな」・「いくつ」・「いくら」・「どの」を使用する傾向が顕著に現れた。

すなわち、疑問語が表 2. で示した対応関係の枠に収まらない文脈では、学習者が「何一」を回避するなど、正確な疑問語の選択ができない傾向がみられた。それは、不自然な言い方であるに過ぎない場合もあるが、意味伝達上での支障も生じ得る。例えば、例(8)と(9)は、重量ではなく値段が問われるというふうに誤解される恐れがある。

その問題点を考慮し、日本語の疑問語のロシア語訳はあくまでも目安であることを学習者に伝え、その対応の多様性を語彙表などにも提示することが望ましいと考えられる。なお、前掲の日本語とロシア語の疑問語の基本的な対応表にも表 3. のように多様性を取り入れることができるであろう。

なお、文のレベルでは間違っていないが、談話レベルで判断すれば、不適切だと思われる疑問語をはじめとする疑問表現の使用もみられた。例(17)～(21)のような表現は、母語のコミュニケーションスタイルの影響であると推測できる。相手が今後恥をかかないよう、相手の間違いを指摘した方が親切であるというのはロシア語の考え方である。相手との関係やプロミネンスなどによるが、ロシア語では親しい話し相手の発言を受けて「あなたは間違えました」と言うことは、「あなたの知恵は疑っていないが、この発言は何かの言い誤りか勘違いでしょう」という相手に対する配慮として位置付けられる見解がある。また、友達に遅刻を指摘するのも自然である。しかし、ロシア語の考え方が日本語に移されてしまうと、相手に不快感を与える可能性が高い。相手の誤謬を明確に指摘する言動は日本人に対する学習者の印象低下に繋がる可能性があるため、それを考慮した指導が望ましい。

³ 「どんな」を「どっな」と、「何」を「何」と、「どんな」を「どうんな」と表記する学習者が1名ずついた。「どうして」を「どして」と表記する学習者が5名おり、先行研究に指摘される長音の習得の困難性を窺わせる。

表 3. 日本語とロシア語の疑問語の基本的な対応関係 (修正案)

問う対象	ロシア語	日本語
人	кто (who)	誰・どなた
事物	что (what)	何
時	когда (when)	いつ
場所	где (where) куда (whereteto)、откуда (where from)	どこ・どちら
数量	сколько (how many)	いくつ・いくら どれぐらい 何 ⁴
性状	какой (what kind of)	どんな・何 ⁵
様子	как (how)	どう
理由	почему (why)	なぜ・どうして
選択	который (which)	どれ・どの・どちら

4.2. 疑問表現の使用状況に関する考察および今後の課題

さて、上記で日本語の疑問語とロシア語の疑問語の特徴について整理した結果、両言語の間には、疑問符の使い方、語順変更の有無、終助詞の有無という相違点⁶がみえてきた。

ロシア語の疑問文には常に疑問符が使用されるが、本調査の範囲では学習者による終助詞「か」と疑問符の併用等の疑問符の過剰使用が見られず、主に疑問終助詞を伴わない文に使用されていた。またロシア語には疑問語が概ね文頭に置かれるが、学習者の回答にはロシア語に行なわれるような語順変更は見られなかった。母語より目的言語の方が単純であると思われる部分においては、正確な産出が安易であることが窺える。

一方、終助詞というものは、膠着語である日本語の特質のひとつであり、学習者にとって終助詞の正確な使用は困難である。本調査で得られたデータの範囲でも、以下のような指摘ができると考えられる。

疑問を表す終助詞として「か」は早い段階で学習され、最も使いやすいものであるとみえたが、76名の被調査者のうち27名は数種類の終助詞を使い分けている。しかし、終助詞の使い分けが不適切である例も多数あった。例えば、既知の情報を確認する場合でも、「つけ」の代わりに「か」を使用する学習者が多かった。それは、話し相手に無知な印象を与える恐れがあり、避けた方が望ましい。さらに、待遇価値が低い

⁴ 「何冊」、「何枚」、「何キロメートル」などの「何+数助詞」

⁵ 「何色」、「何語」など

⁶ インタビューに関しては、先行研究に言及されているため、更に本研究の範囲では音声データを扱っておらず、アンケートのデータのみを扱っているため、考察不可能である。

疑問終助詞「かい」の使用、常体と疑問終助詞「か」の併用⁷は、話し相手に乱暴な印象を与え、日本人に対する学習者の印象低下につながる可能性がある。

学習者にとってはバラエティに富んだ日本語疑問文の文末表現の習得と正確な使用が困難であることが窺えたが、終助詞の使用に関する分析は今回の目的ではなかったため、断片的な論述しかできない。学習者の疑問終助詞の使用状況は、さらなる研究を必要とすることは指摘できる。

さて、本調査では、疑問語および終助詞の不適切な使用がみられ、日本語の疑問表現が学習者にとって困難であることが明確になった。そこで、調査の結果と疑問語の産出の練習が不十分であるという学習者からのコメントを踏まえ、その練習の重要性を主張したい。ロシアの日本語教育現場では、文法項目の学習が中心になっており、会話の練習時間が不十分であることはしばしば指摘されている。しかし、会話が成立するために必要不可欠な疑問表現を正確に使用するには、読解および朗読・母語訳という練習の他に、問答練習など、産出の練習も必要である。日本国内の日本語学校では、問答練習法が広く行われている。しかし、教師の質問に対して学習者が答えるのみという反復練習だけでも不十分である、日本語で会話するために相手の質問に答えるだけでなく、自ら質問をする必要性も生じてくる。従って、教室内の問答練習のとき、教師の質問に答えさせる練習のみならず、教師や他の学習者に対して質問する練習も必要不可欠であることを再主張したい。

5. おわりに

本稿では、先行研究を踏まえて日本語とロシア語の疑問表現の特質を整理し、初級ロシア人日本語学習者にアンケート調査を実施した結果、日本語疑問語をはじめとする疑問表現の使用上で以下の困難点が明確になった。

- ・ 文レベルの誤用が最も多かった。例えば、「何+助数詞」が回避される傾向が強い。このことから、両言語の疑問語の意味範囲が異なる場合における不適切な疑問語の選択が困難であるといえる。
- ・ 談話レベルの誤用もあり、不適切な疑問語の選択および相手に不快感を与え得る言い回しの使用がみえた。母語のコミュニケーションスタイルの影響によると考えられ、その影響で目的言語のコミュニケーションスタイルの習得が困難である。

被験者の回答には、意味伝達が不確実な表現、学習者の印象低下の原因と成り得る表現もあるため、それらの困難点を考慮した指導が望ましいと考えられる。さらに、本研究の範囲内でも終助詞の使用上の困難点が浮かび上がったため、さらなる研究が必要であることが指摘可能である。

なお、本稿では、調査の結果を踏まえ、学習者の疑問表現の使用能力向上を目指して、学習者に紹介する両言語の疑問語の対応関係表の修正案が提案された。

⁷ 具体例は、友達に対して「わるいけど、待ち合わせ時間 13 時にしてくれないかい。」、「お茶とかコーヒーとか飲むか」、先輩に対して「どのようにパソコンの検索機能を使えるか。」などが挙げられる。

参考文献

- 五十嵐陽介(2004)「ロシア語疑問文インタネーションの実験音韻論的研究」『言語情報学研究報告』4、pp.255-276
- 衣畑智秀・岩田美穂(2010)「名詞句位置のかの歴史—選言・不定用法を中心に—」『日本語の研究』第6巻4号、pp.1-14
- エブセーバ・エレナ(2007)「Wh 要素の生起位置と解釈—英語および日本語と対照したロシア語の特徴—」『京都大学言語学研究』26、pp.103-130
- 阪倉篤義(1960)「文法史について—疑問表現の変遷を一例として—」『国語と国文学』37(10) 至文堂、pp.75-88
- 金杉ペトラ(2008)「日本語と英語における疑問文の形式と機能の対照」『大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」活動報告書平成19年度 シンポジウム編』pp.44-53
- 工藤浩(1980)「疑問詞」『国語学大事典』東京堂出版
- コベルニック・ナディヤ(2012)「ロシア語・ウクライナ語母語話者による日本語学習者コーパス誤用分析」『言語・地域文化研究』(18)、pp.173-180
- 迫田久美子(2002)『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルク
- 中林律子(2010)「日本語学習者は日本語音声からどのように感情を聴取するか—ロシア人日本語学習者が「驚き」「嫌」の感情を聴取した音声の音響的特徴—」『音声研究』14(3)、pp.65-66
- 白尚燁(2012)「ツングース諸語の WH 相関構文の分布に対する類型的考察」『北方言語研究』2、pp.163-181
- 三尾真理(1979)「疑問詞とその用法」『日本語教育』36号 pp.73-90
- 宮地裕(1991)「疑問表現」『国語学大事典』東京堂出版
- 山口堯二(1990)『日本語疑問表現通史』明治書院
- Валгина Н.С., Розенталь Д.Э., Фомина М.И.(2002) *Современный русский язык*; Москва: Логос (ワールギナ N.S.、ロゼンターリ D.E.、フォーミナ M.I.(2000) 『現代ロシア語』モスクワ市ローゴス出版)

資料①. 調査の設問の一覧

1. もし、あなたが最近知り合った外国人にその人の出身国について聞くとしたら、どのような日本語で質問しますか。Как вы по-японски спросите у иностранца, с которым недавно познакомились, из какой он страны?
2. もし、あなたが友達にフランスの国旗の色について確認するとしたら、どのように質問しますか。Как вы спросите у друга по-японски, какого цвета французский флаг?
3. もし、あなたがインド旅行に行ってきた友達にその旅行の感想について聞くとしたら、どのように質問しますか。Вы хотите спросить друга, вернувшегося из путешествия в Индию, о его впечатлениях. Что вы скажете?

研究論文

4. もし、あなたが東京と大阪の間の距離について先生に聞くとしたら、どのように聞きますか。
Как вы спросите у преподавателя, какое расстояние от Токио до Осаки?
5. もし、あなたが遊びに来た友達にお茶かコーヒーを出すとしたら、その人の好みについてどのように聞きますか。Как вы спросите у друга, который пришёл к вам в гости, будет ли он чай или кофе?
6. もし、あなたが講義の開始時間を聞き逃して教務室に聞くとしたら、どのように質問しますか。Как вы уточните время начала лекции в деканате, если случайно пропустили информацию мимо ушей?
7. もし、あなたが買いたい牛肉に重量表記が見当たらず、店員に聞くとしたら、どのように質問しますか。Какой вопрос вы зададите продавцу, если хотите уточнить, сколько весит упаковка говядины?
8. もし、あなたの友達が『『こころ』の作者は三島由紀夫だ』と言って、あなたがそれは夏目漱石だと知っているとしたら、どのような質問をして、友達のミスを指摘しますか。
Если ваш друг говорит, что Мисима Юкио – автор романа «Сердце», а вы знаете, что этот роман написал Нацумэ Сосаки, как вы спросите у друга, не ошибается ли он?
9. もし、あなたが友達との待ち合わせ時間を14時から13時に変更したいとしたら、どのように質問しますか。
Как вы спросите у друга, можно ли перенести время вашей с ним встречи с 14:00 на 13:00?
10. もし、あなたが知り合いとの会話で日本の一番小さい県について聞くとしたら、どのように聞きますか。Как вы поинтересуетесь в разговоре со знакомым, какая префектура самая маленькая в Японии?
11. もし、あなたが沖縄旅行に最適な季節について旅行会社の人に聞くとしたら、どのような質問をしますか。Как вы спросите у работника турфирмы, какое время года лучше всего подходит для поездки на Окинаву?
12. もし、あなたが、待ち合わせに遅れてきた友達に遅刻の理由について聞くとしたら、どのように聞きますか。
Как вы спросите у друга, опоздавшего на встречу с вами, о причине его опоздания?
13. もし、あなたが先輩にパソコンの検索機能の使い方について聞くとしたら、どのような質問をしますか。Как вы спросите у старшего товарища, о способе использования поисковой системы компьютера?
14. もし、あなたが年寄りの通行人に東京タワーまでの道を聞くとしたら、どのような質問をしますか。Как вы спросите у пожилого прохожего, как пройти до Токийской башни?
15. もし、あなたが先生に文献を推薦していただきたいとしたら、どのように質問しますか。
Как вы спросите у преподавателя, какие книги он вам порекомендует прочитать?
16. もし、あなたが知り合いの方に好きなスポーツについて聞くとしたら、どのように質問しますか。
Как вы спросите у своего знакомого о его любимом виде спорта?

付記

本稿の執筆にあたり、御指導くださいました浅川哲也先生に心より感謝申し上げます。また、調査にご協力くださいました方々に厚く御礼申し上げます。

(GRIB Dina・首都大学東京大学院人文科学研究科博士後期課程)